

経営比較分析表（令和5年度決算）

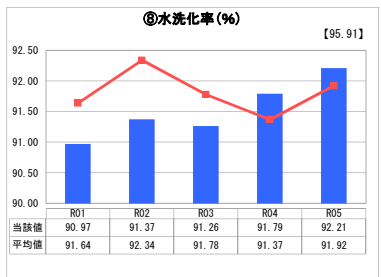
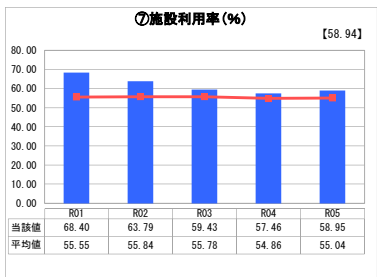
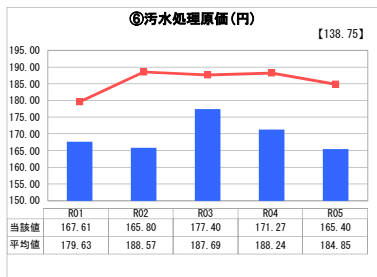
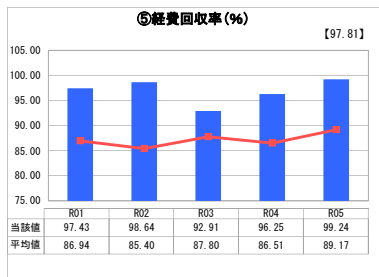
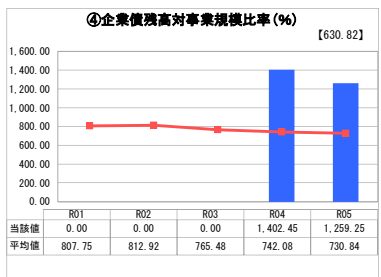
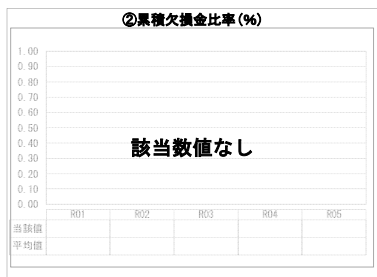
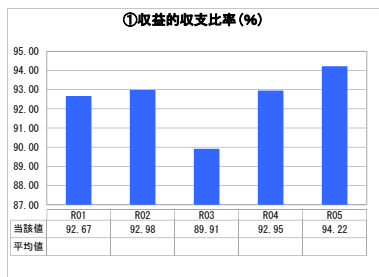
福井県 勝山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(P)
-	該当数値なし	86.46	80.84	2,783

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
21,483	872.43	24.62
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
18,422	8.22	2,241.12

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①「収益的収支比率」は、総収益、総費用共に減少しているが、総費用の減少額の方が大きいので、前年度よりも高くなっている。総費用が減少した要因は、打ち決算に伴い、支払が4月以降になったものが令和5年度の決算に含まれなかったことが挙げられる。今後は、使用料収入の減少や維持管理費等の増加により、ますます厳しい経営状況が見込まれるため、使用料改定の検討を含めて経営安定化を図り、収益的収支比率100%以上を目指していく。

②「企業債残高対事業規模比率」は、令和5年度より使用料を隔月徴収から毎月徴収に切り替えた関係で、令和5年2月分から令和6年2月分の合計13ヶ月分で決算をしており、使用料収入が前年度よりも増加しているため、前年度と比較して減少している。

③「経費回収率」は、打ち決算の影響で、支払いが令和6年4月となったものが、決算に含まれなかったため、前年度と比較して増加している。しかし、100%を下回っているため、さらなる健全化に努める必要がある。

④「汚水処理原価」は、打ち決算の影響で、支払いが令和6年4月となったものが、決算に含まれなかったため、前年度と比較して減少している。今後は、人口減少に伴う有収水量の減少が見込まれることから、効率的な維持管理の方法など有効な対策を考えていく必要がある。

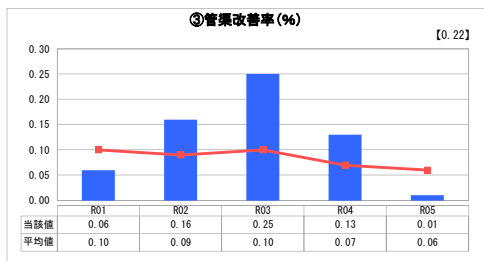
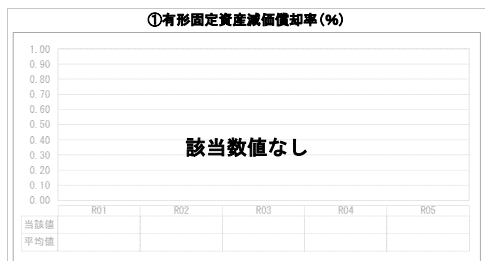
⑤「施設利用率」は、晴天時一日平均処理水量が前年から増加したことにより、前年から増加している。今後は人口減少に伴う有収水量の減少が見込まれることから、施設のダウンサイジングなど有効な対策を考えていく必要がある。

⑧「水洗化率」は、人口減少に伴い、水洗化人口及び処理区域内人口ともに減少しており、水洗化率に大きな変化はない。使用料収入を確保するために、水洗化率100%を目指して下水道接続促進を続けていく。

2. 老朽化の状況について

③「管渠改善率」は、当市の下水道供用開始が昭和60年のため、耐用年数の50年を超える老朽管は少ないものの、今後の更新需要の増大に備えて、適正な管理や早期の修繕により、可能な限り長寿命化を図り、設備投資の増加を抑制していく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

勝山市の下水道事業は、人口減少に伴い、下水道使用料収入が長期的に減少していくことが予想されるが、維持管理費は増加していくため、厳しい経営環境に置かれることが予想される。また、農業集落排水事業との接続の検討などの課題もある。

適切な維持管理に努め、必要な施設整備・更新を着実に推進し、将来の下水道サービスを安定的に提供していくための費用を見込みながら、引き続き財政基盤の強化に努め、中長期的な視点に立って財政運営を行っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。